

平成30年度 公益財団法人那須野が原文化振興財団事業計画書

1 基本方針

平成30年度は開館24年、四半世紀となる25周年を目前に控えております。

それ故、平成30年度は更なる実務面での充実と無駄の削減に努めると共に、これまでの間に築き上げてきた多くの顧客との信頼関係をより一層強固に構築します。

また、公益財団設立の目的に則り、大田原市及び那須塩原市における文化の向上及び芸術の振興を図り、住民の自主的な文化活動への支援を行うことにより、豊かな文化の創造に寄与するための公益事業の一層の充実に努めてまいります。

設備におきましても、那須野が原ハーモニーホール施設修繕事業実施計画に基づき、平成25年度のパイプオルガン設置以降、優先エレベーターの設置、監視カメラ更新等を行い、利用者の利便性と安全性を図ってきました。平成30年度からは小ホール公演の照明の心臓部ともいえる調光負荷設備の改修を行います。

2 公益目的事業

(1) 主催公演事業

年間約71本の主催事業を実施して、様々な音楽・芸能・美術等に触れてもらう事業を実施し、芸術文化の鑑賞の機会の提供に努めます。

事業については、アンケートにより地域住民のニーズを把握し、要望を取り入れるとともに、館長の諮問機関である、芸術関係者で組織する運営懇談会、ギャラリー運営委員会において運営方針等を検討し、芸術文化の発信基地として質の高い芸術鑑賞事業の企画に努めます。

音楽部門では、クラシック系で29本（オーケストラ、室内楽、ソロ、デュオ、邦楽、県内出身音楽家のシリーズ等）を計画しており、開館25周年を前にしたプレ公演も含まれております。パイプオルガン関連事業といたしまして6本を計画いたしました。その他ポピュラー系で16本、国際色豊かなジャズ、ミュージカル、演劇、歌舞伎、寄席、ポップスなどの様々なジャンルを実施します。また、共催事業としてクラシックで2本、ポピュラー系で4本、演劇系で2本の事業を計画しております。

ギャラリー部門では、「原野展」「ハーモニーホール展」を開催し、洋画、日本画、版画、書等の平面部門と、工芸、彫刻等の立体部門の展示に加え、アート体験教室・講演を実施いたします。

周知については、ホームページ、チラシ、ポスター、新聞、ラジオ放送のほか、大田原市及び那須塩原市の広報紙に掲載し、数多くの方々、様々な年代の方々に来館していただけるよう努めます。

(2) 講座開設等地域の文化活動の振興に関する事業

ア) 文化団体育成事業

地域の文化団体の育成を重点課題と位置付け、これまでオーケストラ養成講座、合唱団育成講座（一般及び少年少女）、演劇講座及びジュニアオーケストラワークショップ、パイプオルガンスクールの5講座6種目を実施して来ましたが、今年度からは演劇講座にミュージカル部門を設け、内容の充実、技術の向上を図ります。

イ) ハーモニーホールフェスティバル「第24回地域文化活動育成事業」

大田原市及び那須塩原市を中心として活動する文化団体等を対象に、発表の機会を提供し、地域の文化振興、伝統芸能の保存・継承を図ってまいります。

ウ) 第25回マラソンコンサート

那須野が原ハーモニーホールの存在をアピールし、気軽に来館していただくと共に、ピアノ及び管弦楽器演奏の発表の場を提供し、ホールにおける発表の喜びと個々の音楽資質の向上を図ってまいります。

(3) 施設の管理及び貸与に関する事業

那須野が原ハーモニーホールの指定管理者として、施設利用者が快適で安全に利用できるように常に良好な状態を維持するとともに、業務の意義や効果について十分配慮し、効率的な施設管理を行います。

地域の芸術文化の振興、文化交流等の活動の拠点及び芸術文化の発信基地としての役割を十分認識し、施設の管理及び貸与を行います。

施設利用者サービスを一層充実させるとともに施設の機能を十分にアピールして施設稼働率向上と利用者の満足度の向上に努めます。

(4) 目的を達成するための事業

ア) 芸術文化に関する情報収集及び広報に関する事業

①情報収集

○公立文化施設協議会研修会等への参加

栃木県公立文化施設協議会、関東甲信越静地区公立文化施設協議会に参加し、積極的に他館の状況並びに専門的技術の習得を行います。

○音楽事務所等からの情報収集

自主事業を企画・検討するため、音楽事務所及び劇団等から公演予定の資料の収集を行います。

○観客からの意見・要望等の収集

自主事業開催時のアンケート等により、住民のニーズの把握に努めます。

②広報活動

○広報紙等の活用

自主事業のPRのために、市広報、新聞、ラジオ、テレビを活用し、積極的に住民への情報提供を行います。

○情報紙の発行

那須野が原ハーモニーホールの情報紙として「催し物のご案内」を毎月発行し、自主事業案内をはじめとして、広くホールの情報提供を行うとともに、イベント情報紙を年1回作成し、管内自治会の各戸に配布します。また、クラシック音楽振興の一環として、県内外の学校訪問を行い普及に努めます。

○インターネットの活用

ホームページの充実を図り、ホールの貸館情報、事業・イベント情報を発信していきます。

○PRパンフレット作成

自主事業PR用チラシ及びポスターを作成し、管内の公共施設をはじめ、市内の主要な施設に配付するとともに、ポスター掲示場の確保並びにチケット販売促進の取組みを積極的に行います。

また、積極的にイベント会場や施設に出向き、直接チラシを手渡すことにより、ホールの存在と事業をアピールします。

○プレイガイドの充実

イープラスやセブンイレブン等のインターネットでのチケット販売拡大に努めてまいります。

イ) 事業企画について

① 那須野が原ハーモニーホール運営懇談会の開催

事業に関して意見を求めるため、大田原市及び那須塩原市の文化協会、音楽、演劇、美術等の関係者で構成する那須野が原ハーモニーホール運営懇談会を開催し運営方針等を検討してまいります。

② 那須野が原ハーモニーホールギャラリー運営委員会の開催

那須野が原ハーモニーホールのギャラリーにおける利用及び企画事業等展示事業の充実強化を図るために、那須野が原ハーモニーホールギャラリー運営委員会を開催し運営方針等を検討してまいります。

③ 平成30年度における自主事業の実施

「芸術・文化発信の中心地」となるよう、充実した事業を実施いたします。

ウ) 利用者サービス向上への取組み

① 託児制度の実施

財団が主催する音楽等の自主事業について、幼児等のいる入場者の鑑賞を容易にするために、託児室の設置を行います。

② ボランティアスタッフ制度の実施

財団が主催する自主事業公演の円滑な運営及び地域に密着したホール創りを目的として、ボランティアスタッフ制度を充実させていきます。

3 収益事業

(1) 公益目的事業に該当しない施設の貸与

施設利用者サービスを一層充実させ、施設稼働率向上と利用者の満足度の向上に努めます。また、施設の機能を十分にアピールし、利用リピーターの確保、新たな利用者の発掘及び公益目的事業の財源確保に努めます。

(2) 物品販売事業

来館者の利便性向上のために自動販売機設置による飲料販売を行うとともに、来館記念の土産として「那須野が原ハーモニーホール録音 CD、DVD」や「ハーモニーようかん」の販売促進に努め収益向上を図ります。

4 相互扶助等事業

地域住民へ芸術文化の鑑賞機会を提供し、芸術文化の意識高揚を図ることを目的として設置された趣旨に基づき、芸術文化を愛し、ホールを支えるサポーターとして、那須野が原ハーモニーホール友の会の充実並びに会員数の拡大を図ります。

「会員の声は、ホールを支える声」として要望等の把握に努めます。

また、会報の発行等を行い、事業の案内周知に努めます。

5 年間事業計画について

別様の「平成30年度公益財団法人那須野が原文化振興財団自主事業計画」による。